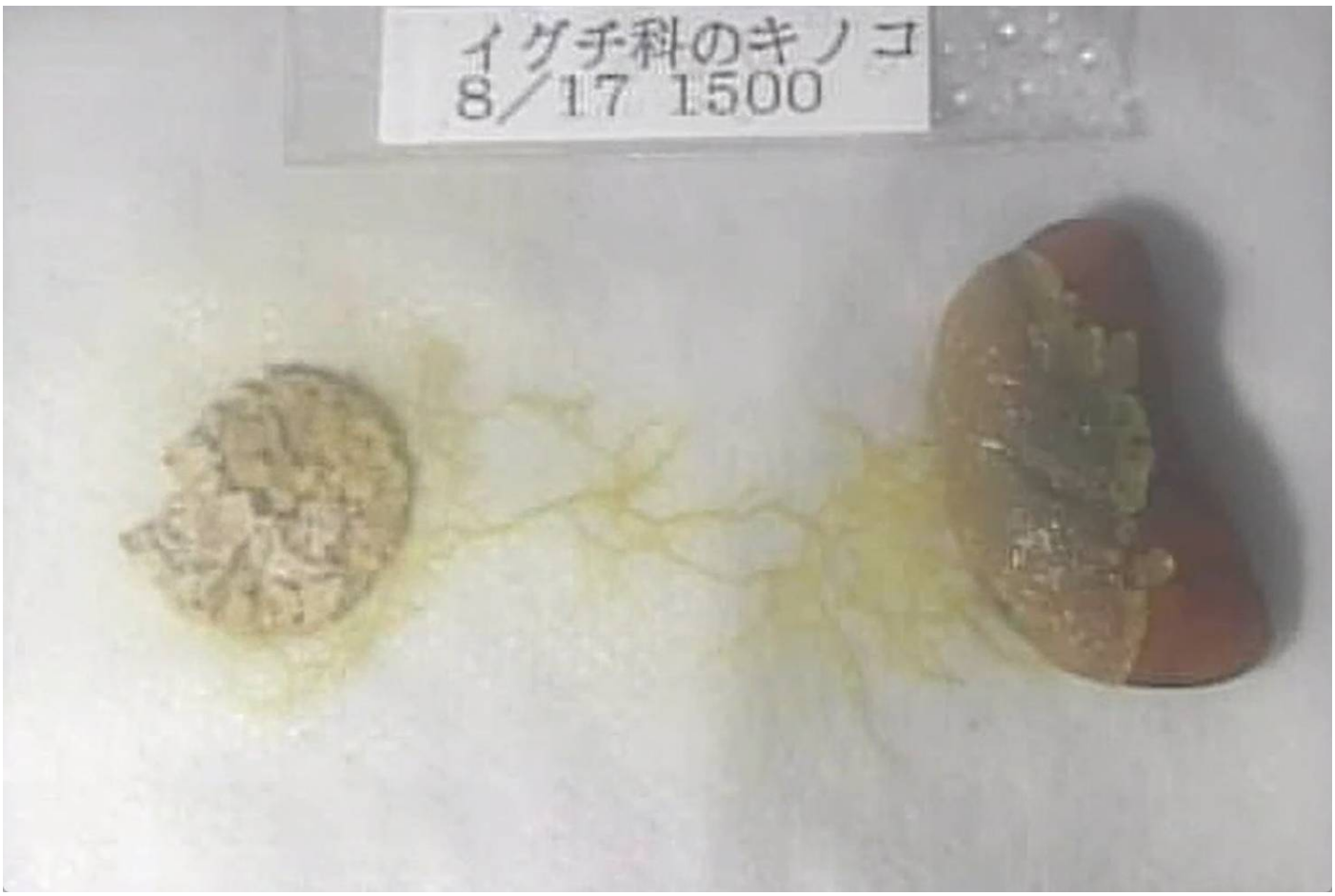
2025_0830「真菌を食べる変形菌（タイムラプス動画）」日々の理科 4040 号

お茶の水女子大学　サイエンス＆エデュケーション研究所　田中　千尋

・

実験室で変形菌（粘菌）を培養するには、通常「オートミール」を与えます。しかし、自然環境下の変形菌の変形体は、いろいろなものを栄養源にします。たとえば、キノコ（真菌の子実体）を好む変形菌は多く知られています。実際に森の中で、変形菌の変形体にすっかり覆われているキノコを何度も見たことがあります。

その様子を実験で確かめてみました。よく育った変形菌（モジホコリ）の変形体塊をペーパーの上に置き、少し離れたところに真菌（イグチ科のキノコ）を置きました。変形体はすぐに伸び始めますが、まっすぐにキノコに向かうわけではありません。変形体は拡散しながら迷走し、やがてキノコを発見します。発見したらあとは早く、次第にキノコによじ登って、やがてキノコの傘全体を覆ってしまいました。その後キノコは栄養を吸収されてしぼんでいっく様子もわかります。

変形菌（粘菌）が真菌を食べるというのは、実に面白い生態です。これぞ「粘菌生活」と言えるでしょう！